

私は、日本共産党を代表いたしまして、請願第1号土曜授業の中止を求める請願に賛成の立場で討論します。

10年前に始まった野田市の土曜授業は、当初野田市内の小中学生の学力向上を目的に始められました。この10年の土曜授業の推移を見ると、学力向上に資する授業を、地域の特性を生かした授業を、平日の授業の延長線上で有効な授業をと、その時々野田市教育委員会の見解は変化してきました。このことから、この10年間で土曜授業によって学力向上の確かな成果はあったのでしょうか。

その一方で、子供と教師への負担感は増えています。県内の土曜授業の実施自治体は野田市だけということもあり、子供たちの土曜授業への意欲は低下し続けています。7月、9月の猛暑の中、僅か3時間の授業のために登下校することで、体力的にも負担を強いられている子供もいます。

昨年行われた生徒・保護者・教職員へのアンケートにも現れています。教職員からは、土曜授業を続けていく上で考えていくべき点は何かの問いかけに対して、児童生徒の意欲・体調や自分の体調を考えて行くべきとの答えが半数に上っていることが特徴的です。児童生徒からも、疲れが取れない、意欲が湧かないなどの声が多数となっています。保護者からも疑問が出されています。

子供たちや保護者の皆さんからも決して歓迎されているとは言い難いアンケート結果ではないかと思えます。

以上の点を踏まえて、私は、土曜授業の中止、廃止を求め、子供たちが生き生きと学び、教師がゆとりをもって働くことが必要であると考えます。

よって、この請願に賛成といたします。